

■平成 27 年 短答式本試験 行政法規 講評■

1, 出題形式について

※合計 100 点 (1 問 2.5 点×40 問)

年度 形式	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
単純選択	6 問	8 問	9 問	7 問	9 問	14 問	15 問
個数選択	17 問	14 問	20 問	19 問	8 問	0 問	0 問
組み合わせ	16 問	18 問	10 問	13 問	23 問	26 問	25 問
穴埋め	1 問	0 問	1 問	1 問	0 問	0 問	0 問
計	40 問	40 問	40 問	40 問	40 問	40 問	40 問

2, 総評

昨年に引き続き個数問題の出題がゼロとなるかが注目されたが, ゼロであった。
T A C では, 数問題ゼロパターンと個数問題ありパターンと双方出題しているの
で, 対応は容易であったろう。

出題形式は単純選択が一間増加し 15 問, 組み合わせ問題が 25 問となった。
内容的にはかなり易しく, 過去問にでていないところも基本講義を聞いていれば
容易に正解できる問題であった。

出題法令としては, 河川法等が道路法になり, 自然環境保全法が自然公園法と
なったが, これは T A C の予想どおりであったので, 容易に対応できたであろう。
出題の難易度から考えると, 合格ラインは, 70 点程度でもおかしくはないが, 近
時の受験生の減少などを考えると, 60—65 点程度におちつくのではないか。

以 上